

災害に強い
森林を！

木材が当たり前
に使われる社会を！



創
る



森林や木と
ふれあい、
大切にする社会を！



元気な
林業を！

三重の豊かな森林を
未来の子どもたちへ引き継ぐために！

三重県林業職員

になりませんか？

●三重県林業職員ってどんな仕事？

組織、具体的な仕事内容などについて紹介します！

三重県林業職員の概要

三重県林業職員は、三重県の林業を元気にし、三重の豊かな森林を未来の子どもたちに引き継いでいくために、森林・林業に関する幅広い業務を担っています。

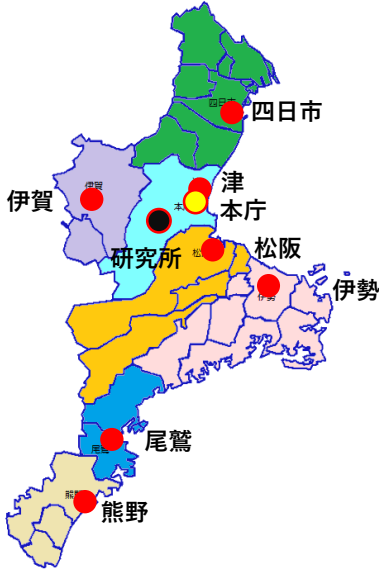
■三重県林業職員ってどれくらいいるの？

令和3年4月1日現在で152人（うち女性27人）の三重県林業職員が、森林・林業に対する熱い思いを胸に業務に取り組んでいます。

■三重県林業職員の組織ってどんなの？（令和3年4月1日現在）

三重県林業職員が配属される主な組織は以下のとおりとなっています。

※この他の組織に配属されることもあります。



●県庁（本庁）

森林・林業経営課

森林計画班、木材利用推進班、林業経営班、スマート林業推進班

治山林道課

治山班、林道班、森林管理班

みどり共生推進課

みどり推進班、野生生物班、自然公園班

●農林（水産）事務所（四日市、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野）

森林・林業室

林業振興課、森林保全（1、2）課

●林業研究所

研究課、アカデミー運営課、普及・森林教育課

【本庁】各担当業務において、林野庁をはじめとした国との調整、県予算の編成、事業要領の作成・改正、地域機関のとりまとめなどを行っています。

	課	班	主な所掌事務
本庁	森林・林業経営課	森林計画班	森林計画、森林GIS、森林づくり基本計画、企画
		木材利用推進班	県産材の利用推進（三重の木づかい）、建築物の木造・木質化
		林業経営班	造林・間伐、種苗、林業・木材産業促進対策、特用林産
		スマート林業推進班	スマート林業、担い手対策、林福連携
治山林道課	治山班	治山、山地災害復旧、災害に強い森林づくり	
	林道班	林道、林道災害復旧	
	森林管理班	林地開発、保安林、森林病虫害防除、県行造林	
みどり共生推進課	みどり推進班	企業の森、みえ森と緑の県民税、環境林整備	
	野生生物班	鳥獣保護、希少野生動植物、生物多様性保全、レッドデータブック	
	自然公園班	自然公園施設整備、自然公園の利用促進	

【地域機関】森林土木工事の発注・監督、各種補助金の交付事務、林業の普及指導などについて、市町や林業者、建設業者と直接関わりながら進めています。

	室	課	主な所掌事務
地域機関	森林・林業室	林業振興課	森林計画、造林・間伐、林業普及・指導・担い手対策、森林病虫害防除、みえ森と緑の県民税、緑化推進、狩猟・鳥獣保護、森林教育
		森林保全（1、2）課	治山、林道、保安林・保安施設地区、自然公園・自然環境保全

【林業研究所】森林・林業に関する試験研究、「みえ森林・林業アカデミー」の運営、林業普及、森林教育などを行っています。

	課	主な所掌事務
林業研究所	研究課	育林・育種、森林保護・保全・利用、林産・特用林産に関する試験研究
	アカデミー運営課	みえ森林・林業アカデミーの運営、林業人材の育成
	普及・森林教育課	林業普及、森林教育

三重県林業職員の仕事内容

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

森林環境教育・木育担当



農林水産部 みどり共生推進課
みどり推進班 技師 高嶋 英理子

○森林環境教育・木育業務とは？

近年、人々が日常生活の中で森林や自然、木にふれる機会が少なくなっています。そこで、森林のほたらきや大切さを伝えるために森林環境教育・木育を推進しています。

具体的には、小中学校などで、自然観察や木工体験などの出前授業を実施するほか、県内各地でイベントを開催し、子どもたちが森林や木にふれ、学ぶことのできる機会をつくれます。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

森林環境教育・木育を県内各地で展開していくために具体的に以下のことに取り組んでいます。

○森林環境教育の推進

- ・指導者（森のせんせい）の養成
- ・学校などでの出前授業（森のせんせいの派遣）
- ・森林や木について学べるイベントの開催

○木育の推進

- ・誰もが木にふれることのできる木育体験施設の整備
- ・木工作家、教育関係者など、木育を広げていく人達のネットワークの構築
- ・三重県の木でできた遊具・おもちゃの開発

○現在の仕事のやりがいは？

森林環境教育・木育は近年注目されている分野です。三重県でも取組が始まったばかりで、効果的な方法を模索しているところです。

子どもたちを始め、多くの県民の方に森林の大切さを伝えていくためには、森林・林業関係者だけでなく、小さい子どもやその保護者、学校や保育所の先生など、さまざまな人と関わり、意見を聞き、協力しあいながら取組を進めていく必要があります。どういうニーズがあり、どういう支援が必要なのか、様々な人との関わりの中で、気づき、考え、取り組んでいくことにやりがいを感じています。

治山担当



四日市農林事務所 森林・林業室
森林保全課 技師 岡本 榛名

ある日の スケジュール

- 8:30 メールチェック
- 9:00 事業計画箇所の現地測量
- 12:00 帰庁、昼食
- 13:00 事業計画書・設計書等の作成
- 15:00 工事関係業者との打合せ
- 17:30 退庁

○どんな仕事をしてるの？

私が所属している森林保全課は主に、水源のかん養や土砂災害の防止、生物多様性の保全等の「森林の公益的機能」が発揮されるよう治山事業を行っています。

私は治山工事の設計や現場監督をしています。工事は設計基準に沿って、現場状況にあった最も経済的な工法を考えて設計します。工事が始まれば、工事が適切に施工されているか現場や受注者から提出される書類を確認します。

また、次年度の事業計画箇所を測量し、事業計画書の作成も行います。

○現在の仕事のやりがいは？

自分が担当した工事が完成したときはいつもほっとしますし、自分が設計や監督をしたものが実際に形になることがうれしいです。

また、治山事業で整備された施設は、山腹斜面や渓流等を安定させ、長い時間をかけて多面的機能が発揮される森林を造成していきます。業務の中で、過去に施工した治山施設の点検をしており、しっかりと目的を達成している施設を見る機会があります。短期間で結果がみえないこともありますが、今の仕事が健全な森林を作っていくことにつながることにやりがいを感じます。

三重県林業職員の仕事内容

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

林業普及担当



伊勢農林水産事務所 森林・林業室
林業振興課 主幹 小倉 良介

○受験を考えている人にメッセージ！

林業普及業務は多くの林業事業体の従業員や森林所有者と繋がりを持ちながら仕事を進めていきますが、その中で、今まで知らなかったことを逆に教えてもらうことが多くあります。

採用試験のために林業の専門的な知識を学ぶことも大切ですが、就職してからのの方が森林や林業について覚えることが多いので、常に知識や技術を吸収しようとする向上心を持ち続けることが仕事を楽しく、また有意な結果を得られる秘訣だと思います。

造林担当



松阪農林事務所 森林・林業室
林業振興課 技師 小林 花菜子

ある日の スケジュール

- 8:30 事務所出発
- 9:30 造林検査（現地検査2～3か所）
- 12:00 現地にて昼食
- 13:00 造林検査（現地検査1か所）
- 14:00 造林検査（書類検査）
事業体の事務所にて実施
- 17:00 帰庁
- 17:30 退庁

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

市町と協力しながら、地域の森林整備を担っている森林組合や林業事業体、意欲ある森林所有者等と連携して、森林施業が着実に実施されるよう新たな技術の情報提供や様々な相談を受けたりしています。

また、新たな就業者や高校生、林業に関心がある人に対して、各種研修会などを企画するほか、自ら講師となって、森林・林業に関する知識や技術を教えています。

木材を生産する川上と木材を消費する製材所や建築業等の川下との連携・調整、情報共有、合意形成に向けた取組も行っています。

○現在の仕事で嬉しかったことは？

ある地区から「自分たちが住む地域の森林は自分たちの手で整備していきたい」と相談があり、その地区の方々にチェーンソーの使い方や森林整備の研修を何度も開催しました。関係者との調整や研修の準備は大変でしたが、研修をするたびに森林に興味を持つ人が増えていき、少しずつ森林の整備が進んでいくのを見たときは、それを忘れるぐらいにやってよかったと嬉しく感じました。

直接自分が森林整備をしない分、皆さんが安全に森林整備をしていけるようサポートできることが、この仕事でやりがいを感じると思います。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

森林組合や林業を行っている事業体から、施業が終わると造林補助金の交付申請書が提出されます。その申請書の内容について検査を行い、合格したところに対して補助金の支払いを行います。

検査には現地検査と書類検査があり、現地検査では施業をした現場に行き、植栽本数や、間伐率、作業道の道幅などが申請どおり適切に行われているか確認します。書類検査では、森林経営計画に基づく施業であるか、申請に必要な書類や、現場の作業記録などの書類が適切に整理されているかなどを確認します。

○受験を考えている人にメッセージ！

山や森林の仕事といえば真っ先に思いつくのはやはり「林業」ではないでしょうか？造林事業はまさに「林業」に関わる仕事といえます。

実際に山に行き森林整備の現場を見ることもできますし、施業をした山がどんなふうになっていくのかが実感できます。

山の仕事に関わりたいと思っている人や、森林整備や山づくりに興味がある人は、行政という立場から森林整備を支援してみるのもやりがいがある面白いかもしれませんよ！

三重県林業職員の仕事内容

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

森林・林業アカデミー担当



林業研究所 アカデミー運営課
主査 樋口 大輔

○みえ森林・林業アカデミーとは？

新たな視点や多様な経営感覚により、森林・林業・木材産業のさらなる発展をめざすため、幅広い分野の全国のトップランナーを講師に迎えて講座を行っている学校です。

講座は、働いている方でも学びやすいように、それぞれのコースで、月に2日程度、年に2週間から3週間程度の日数で行っています。

世代を超えた多彩な人々が集まり、アカデミーを介して、講師や受講生のネットワークをつくりながら、楽しく熱心に学んでいただいています。

研究担当



林業研究所 森林環境研究課
主任研究員 山中 豪

年間スケジュールのイメージ

- 4月～ 5月 必要物品の購入、苗の仕込み、計測
- 6月～ 9月 計測、苗畑や採種園の管理、種子試験
各種成果発表、データ解析、草刈り
- 10月～11月 採種、計測、データ解析、学会発表
次年度試験計画
- 12月～ 1月 種子精選、種子試験、論文執筆
- 2月～ 3月 学会発表、人工交配、採種園剪定
次年度試験準備

○具体的にはどんな仕事してるの？

アカデミーの企画・運営に関すること全般を行っており、カリキュラムの作成や講師の調整、講座の実施、支払い関係の事務のほか、講師と受講生のネットワークづくりなども行っています。

また、アカデミーについて、様々なメディアやイベントでPRを行ったり、団体や企業を訪問して説明を行ったりもします。

アカデミーをより良いものにするために、先進地に視察や研修に行く機会も多く、海外の学校で研修を受ける機会もありました。

○現在の仕事のやりがいは？

アカデミーはまだまだ始まったばかりの学校ですが、学長や特別顧問をはじめ、アドバイザー、講師など、多くの方に関わっていただきながら、一緒にアカデミーを創り上げていくことにやりがいを感じています。

その中で、事務局として、様々な企画を行い、関係者の合意形成をはかることは、大変でもあります。が、やはり面白く、やりがいを感じます。

「アカデミーで学んだことが役に立った」と言ってもらえると、とてもうれしいです！

○林業研究所とは？

種苗、造林、保護、利用、木材など、山林に関する最初から最後まで、多岐に渡る分野の研究をしています。このような研究機関は各県にありますが、その位置付けは各県で異なっています。三重県林業研究所で働くためには、三重県職員として採用される必要があります。多くは、通常的林業職員として、治山工事や造林補助事業等に携わった後、研究所へ異動します。つまり、現場の経験を持ったうえで、研究に取り組むわけです。また、異動により、研究業務を離れることもあります。その時は、研究成果の普及を行うチャンスとも言えます。

○具体的にはどんな仕事してるの？

私の担当は種苗や育種に関することです。具体的には、品質の良い苗を作る手法、効率的に育苗する手法、種を省力的に生産する手法などを開発しています。特に種は、一粒ごとに色・形・中身・さらには遺伝子が異なっています。交配や種子成熟の過程での人為的干渉が、どのように種子の品質として現れるのか、非常に興味深いところです。実務としては、炎天下のビニールハウス内での育苗作業や枝が生い茂る採種園での採種作業、一日中続く剪定など、まさに労働者です。しかし、樹木の生理とは、実作業を通してのみ理解することができる部分も多いのではないかと感じています。

さらに詳しい情報を知りたい方へ

三重県職員採用案内ホームページ

「三重県職員内容案内ホームページ」では、受験申込みができるほか、受験案内もダウンロードできます。

また、職種のご案内、過去の試験の実施結果、Q&Aのほか、申込状況や合格発表など、最新の情報を掲載しています。

<http://www.pref.mie.lg/saiyo>

三重県林業職員に関する情報

「三重県林業職員PRページ」では、三重県林業職員のPR動画を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

三重県林業職員に関する問い合わせ先

三重県林業職員について、知りたいことや相談したいことがありましたら、下記の問い合わせ先にお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先

三重県 農林水産部 森林・林業経営課 林業職員採用担当

TEL 059-224-2564 FAX 059-224-2070 E-mail shinrin@pref.mie.lg.jp